宮崎県：25年度当初予算案に「外国人材の定着促進」事業を計上（宮日報道）

25.02.14

宮崎日日新聞は、県の2025年度当初予算案に「外国人材の定着促進」へ向けた新事業が盛り込まれたと報じた。技能実習の後継制度「育成就労」導入で転籍が可能になることを踏まえ、都市部への流出懸念に対応する狙いを示す。働きやすい職場環境整備や日本語・生活支援など、受入れと定着を両輪とする施策が検討対象。県は「外国人に選ばれる県」を掲げ、企業・地域・学校の連携強化を打ち出す。背景には人手不足の深刻化と産業構造の変化がある。定着につながる住環境の整備や相談体制強化も重要視された。関連資料として県公表の当初予算案概要では、定着促進事業に4,100万円を計上と整理されている。介護・製造・観光など多分野での活躍基盤の整備が見込まれる。制度改正の移行期に、県が主導して受入れ基盤を底上げする方針を示した。今後は各個別事業の具体化・周知が鍵となる。

宮崎日日新聞

外国人に選ばれる県へ 働きやすさ、環…

https://www.the-miyanichi.co.jp/kennai/_82990.html

宮崎県：特定技能外国人材マッチング支援　事業者向け説明会を実施

25.05.02

県は、介護分野を中心とした特定技能外国人材のマッチング支援で、事業者向け説明会を実施。事業の狙い、申込方法、留学生・特定技能人材の活用事例などを案内する。受入れ準備から雇用契約、入国支援まで一連のプロセス支援に触れた。昨年度からの継続事業で、県内施設の採用事例も紹介予定とされる。オンライン開催にも対応し、参加しやすい運営形態。県の介護人材ポータル内でも関連施策が一覧化され、情報にアクセスしやすい。制度理解と採用の具体化を促す位置付けのイベントである。地域の事業者間での情報共有の場としての役割も担う。定着・活躍を見据えたマッチングの実践を後押しする。継続受託実績のある事業者の運営で実装性が高い。

宮崎県

宮崎県：特定技能外国人材マッチン…

https://www.pref.miyazaki.lg.jp/choju/kurashi/koresha/20250502102914.html

宮崎県：みやざきビジネスアカデミー（外国人労働者向け）運営業務の実施告知

25.05.22

県は、外国人労働者向けの研修プログラム「みやざきビジネスアカデミー」の運営業務について、企画提案競技の実施を告知。目的は、ビジネス日本語やマナーなど職場適応に必要なスキル習得を支援し、職場の即戦力化と定着を促すこと。委託期間は契約締結日から令和8年3月13日まで、契約上限額は6,259,000円と明記。県HPの新着情報にも同旨の掲出があり、公募→審査→結果公表の流れが示された。7月3日付で受託者結果が公表され、株式会社教育情報サービスが選定された。受講対象・カリキュラムの詳細は仕様書で定められている。外国人材の早期戦力化と離職抑制を狙う実践的な施策である。産学官の連携による講座運営を前提とし、県内企業の受入力向上を図る。ひなたMBAの枠組みと連動し、継続的な人材育成を進める。結果公表ページも公開され、透明性の高い運営が確認できる。

https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sangyoseisaku/kense/chotatsu/20250507102320.html

WORLD FAVOUR OVERSEAS：ネパール人技能実習生 12名が宮崎の医療施設へ入社

25.01.31

ネパールの送出機関WORLD FAVOUR OVERSEASは、宮崎県内の総合医療施設で介護職として就労する技能実習生12名の入社式に同行したと報告。現場配属前の準備や移動の様子、実習生の表情を写真付きで紹介している。地域の医療・介護現場で人材確保が進む一例として位置づけられる。今後の生活・仕事の両面での支援が重要であることに触れる。受入れ企業と実習生のマッチングが順調に進んだことを示す内容。現地からのレポート形式で、入社式の雰囲気が伝わる。地域ぐるみの定着支援の必要性も示唆される。技能実習制度下での育成と、将来的な移行可能性への期待が伺える。宮崎の生活環境の魅力にも言及している。継続的なフォローアップの重要性を示す記録である。

ネパール人技能実習生送出機関・ワール…

ネパール人技能実習生12名の介護施…

https://wfo-jp.com/post-4129/

ウイルテック：宮崎市と「海外人材雇用促進に関する連携協定」を締結（ PR TIMES）

25.02.19

製造請負・人材サービスのウイルテックは、宮崎市と海外人材の雇用促進に関する連携協定の締結式開催を発表。締結式は2月26日予定で、市庁舎内の特別会議室で行われる。市の魅力発信と就労・生活面の支援を通じ、定着を後押しする枠組み。海外現地での情報発信や、企業と候補者のマッチング強化を掲げる。地域産業の人手不足解消と活性化を目的とした取り組み。市との協定により、受入れ環境の整備が加速すると見込む。企業の採用力向上と生活支援の両輪で成果を狙う。PR TIMESの一次情報として、日程・会場・狙いが明確に示された。地域の教育機関・支援機関との連携も想定される。協定の具体施策は今後の発表で詳細化される見込み。

PR TIMES
宮崎市と「海外人材雇用促進に関する連携協…

https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000030.000067902.html

MRT/TBS NEWS DIG：県内の外国人労働者は 8,515人で過去最多（宮崎労働局）

25.02.15

MRTは、宮崎労働局の集計として、2024年10月末時点の県内外国人労働者が8,515人で過去最多と報道。前年から1,494人増、受入れ事業所は1,506か所でいずれも過去最多と伝えた。在留資格別では技能実習生が4,816人で全体の約6割。国籍はベトナム、インドネシア、ミャンマーの順に多いと整理。人手不足の進行が受入れ拡大の背景にある。適正受入れと定着支援の重要性が増していることを示すデータ。官民の支援施策の実効性が問われる局面である。教育・住居・医療等の多面的支援の必要性が浮き彫りになった。統計は今後の施策立案の基礎資料となる。地域の雇用・生活環境整備の加速が期待される。

TBS NEWS DIG
宮崎県内の外国人労働者数は8515人 過去最多を..

https://newsdig.tbs.co.jp/articles/mrt/1732693?display=1

MRT/TBS NEWS：日南市・油津港に外国クルーズ船が寄港（ダイヤモンド・プリンセス）

25.03.18

3月18日、横浜発着の外国クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が油津港に寄港。乗客・乗員あわせて約4,000人が来訪し、日南市の職員やキャラクターが岸壁で出迎えた。飫肥では歴史的施設見学や人力車体験など観光を満喫。市内各地がにぎわい、飲食・観光関連への波及効果が見込まれる。今年3回目の寄港で、地域の受け入れ態勢の成熟がうかがえる。多言語対応や交通手配など、官民の連携が機能した事例。外国人観光客の増加が地域経済に寄与する動向を示す。港湾・観光戦略における継続的な誘致の成果が表れた。今後の寄港増に向けた受入環境の整備が期待される。映像付きで現場の様子を伝えている。

TBS NEWS DIG
海外からの大型クルーズ船 約３年ぶりに…

https://newsdig.tbs.co.jp/articles/mrt/1796998?display=1